

令和元年度2学期終業式 式辞

元号が平成から令和に変わり、令和元年もあと1週間を残すのみとなりました。長かった2学期も、早いもので今日で終業ですね。まるで日々加速しているかのように、早かったなと感じます。2学期の終業にあたり、2学期始業式でお話ししたことを思い起こしてみたいと思います。1学期は「基礎を耕す学期」ということでした。2学期はその基礎を土台に「目標に向かって鍛える学期」なんだというお話をしました。

さて、皆さん、2学期を振り返って、どうだったでしょうか?

2学期の授業日数は、台風でお休みになった日を除くと**85日**ありました。先ほど4名の代表(洋希さん、蒼生さん、海渡行さん、史帆里さん)がそれぞれの立場で2学期の反省を述べていましたね。それぞれがしつかりと自分を見つめ、反省の気持ちを述べていたと思います。大切なことは、反省したことを次にどうつなげるか、生かすかです。是非、自分自身で振り返り反省したことを3学期につなげてほしいと思います。

この2学期、私にとっては、とっても良い学期でした。それは、皆さんがこの4ヶ月間、学習、部活動、生徒会活動、学校行事などで一生懸命頑張り、成果を上げてくれたからです。

まず、体育祭は、悪天候で残念ながら室内での体育祭になりましたが、皆さんの体育祭を成功させるんだという心意気が参観者の感動を呼び、とっても楽しい体育祭になりました。室内でもこれほど盛り上がり、楽しめるんだということを示してくれました。特に紅白に分かれての対抗戦の形を取り、いろいろなアイデアを出し楽しませてくれました。最後の全員リレーは小雨の中、全員が一つになってバトンをつないでいましたね。とてもすばらしかったです。(協力、郷土愛、伝統文化の継承、創造)

三大行事の「テドウ登山」は、急斜面をみんなで声を掛け合いながら山頂を目指し登って行きました。少し雨もパラつきましたが、一人の人が人や落伍者もなく、無事に登り切ることができました。本校の校歌にもある西表島のシンボル、テドウ山の雄大さ、そして自然の素晴らしさを再認識するとともに、保護者や地域住民、関係者の協力・支えが、いかに有り難いことなのかを改めて感じたのではないかでしょうか。(郷土愛、感謝、自己鍛錬)

スポーツ面では、陸上競技において、夕さんの走り幅跳びとリレー種目での県1位、ほんとうに快挙でした。史帆里さんも八重山地区代表として県大会に派遣されました。また、地区陸上ではたくさんの入賞者が出来ました。これも快挙だと思います。

部活動においては、3年生が引退し、1、2年生が主体となった新チーム引き継がれ、新人大会に向け頑張っていますね。バスケットボール部は、先行実施で新人大会が行われ、結果はリーグ戦全敗でしたが、3名の部員全員がシュートを決めるなど、次につながる大会になりました。野球部、卓球部も年明けの新人大会、頑張ってください。期待しています。

文化面では、意見発表大会において朋花さんが竹富町の意見発表大会で最優秀賞、空也さんが優秀賞、英語弁論大会で海渡行さんが優良賞と、本当に頑張ってくれました。3年生になってのそれぞれの成長した姿を見せてくれたと思います。

また、吹奏楽部においても、体育祭での演奏や上原小の70周年記念祝賀会での演奏等、少ない練習時間をやりくりしてよく頑張りました。また、卒業式に向けて「栄光の架け橋」、しっかり仕上げていきましょうね。

1年生は石垣中との交流学習がありましたね。大きな学校で大人数のクラスでの学習、おそらく初めての経験に戸惑いもあったと思いますが、友だちもできてとても貴重な経験になったと思います。

2年生の修学旅行、事前学習をしっかりと取り組み、5名がお互い協力し合い寝食を共にしながら、沖縄や西表島では味わえないことを色々体験し、学ぶことができました。特に長崎自主学習やスキービークはとても印象に残っているのではないでしょうか。(社会学習、集団生活、友情、平和学習)

3年生はいよいよ受験モードになりましたね。行ける学校ではなく、自分が行きたい学校には入れるよう頑張ってほしいと思います。特に「冬休みを制するものは受験を制す」という言葉があるとおり、冬休みの過ごし方が重要です。一日一時間を大切に、しっかりと学習に打ち込んでください。

それからもう一つ、皆さんがよく頑張ったことは生徒会活動です。執行部を中心に行事の取組やこの前の忘年会のように主体的で自発的に行動に移す姿は、とても頼もしく思いました。それは、家庭学習強化月間の取り組みなど、各委員会活動にも当てはまります。自治の力が備わってきている手応えを感じます。

そのほかにも、日常的な活動において、朝の清掃などの勤労活動やボランティア活動等、皆さんのいいところをたくさん観ることができ、とてもうれしく、且つ頼もしく思いました。当たり前のことが当たり前にできる「凡事徹底」が定着しつつあると思います。継続できるよう、これからも頑張っていきましょう! 継続させるコツは「コツコツ」やることでしたね!

反省点としては、学習面において、基礎力テストの合格率がもう少しいであるということと、読書活動に積極的に取り組むということが挙げられると思います。また、提出物の未提出者が若干いることも挙げられます。生活面では、教室の棚や机の中の整理整頓、トイレのスリッパを並べることができていない生徒がいることがあります。残念ながらこれらの課題は昨年からの課題もあります。是非、3学期はこれらのことと意識して、取り組んでほしいと思います。一人一人で取り組むというより、仲間同士声をかけ合いながら、みんなで切磋琢磨し、高め合う集団になってほしいと思います。今年の流行語大賞になった言葉「ONE TEAM」ということです。言い換えると、本校生徒会のスローガンである「自分を磨く、仲間を磨く、地域を磨く」ということです。皆さんならきっとできると信じています。

いよいよ明日から、11日間の冬休みに入ります。花の灌水当番以外は学校としての活動はありません。是非自分なりに有意義に過ごしてください。今年の年末は、令和最初の年越しになります。新しい年、令和2年(2020年)は、オリンピックイヤーでもあります。自分なりの目標を掲げ、一年のスタートを切ってほしいと思います。

いずれにしても、健康に留意し、安全・安心な毎日を過ごすことが、まずは大前提ですので、心に留めていてほしいと思います。皆さん一人一人にとって有意義な冬休みになることを願うとともに、3学期に20名全員が元気な姿で会えることを期待し、2学期終業式のあいさつをいたします。

メリークリスマス&ハッピーニューイヤー!

令和元年12月25日
竹富町立船浦中学校
校長 仲田欣五

